会社の守り

「うちは小さいから大丈夫」は、もう通じなくなっています。

ホームページ・メール・パソコン・社員まで。
0円の診断から始める、中小企業の守り



無限開拓株式会社　2026年11月

被害の実態

中小企業の約4社に1社が、1年のうちにサイバー攻撃などの被害にあっています

約23%

2023年度に被害を受けた企業
（4,191社のうち975社）

73万円

過去3期に起きた被害額の平均
（最大は1億円）

5.8日

復旧までの平均
（最長は360日）

出典：IPA「2024年度 中小企業における情報セキュリティ対策の実態調査」速報（2025年2月14日公表・4,191社）。約23%は975÷4,191で当社が計算

被害の実態

身代金を求める攻撃は、2026年上半期に半期として過去最多の123件

123件

ランサムウェアの被害報告
（2026年上半期・統計開始以降の半期で最多）

約6割

被害にあった組織のうち中小企業の割合
（2025年の1年間）

半数超

調査と復旧に1,000万円以上かかった組織
（2025年の被害組織への調査）

2025年は、1か月未満で復旧できた組織が5割強だけ。侵入口の6割超はVPN機器でした。

出典：警察庁「サイバー警察局便り R8 Vol.15」（2026年9月10日）／警察庁「令和7年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」

なぜ今

被害は取引先まで及び、
取引先の守りを測る国の物差しもできます

取引先に及ぶ

約7割

被害が取引先にも及んだ割合（「特に無し」を除く）

内訳はサービスの停止・遅れ36.1%、賠償・補償の負担32.4%。自社だけの問題では済まなくなっています。

国の新しい物差し

取引先の守りを★で測る制度が、2027年3月に受付開始の予定

「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」。IPAが運営し、★3は要求26項目（専門家の確認を受けた自己評価）、★4は43項目（第三者の評価）。取引先の守りを同じ物差しで測れるようになります。

出典：IPA「2024年度 中小企業における情報セキュリティ対策の実態調査」速報（2025年2月14日）／IPA「セキュリティ対策評価制度」詳細ページ（2026年10月28日更新）

なぜ今

2026年の脅威の上位は、中小企業にもそのまま当てはまります

1	ランサム攻撃による被害	パソコン点検・バックアップ
2	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃	会社の守りチェック
3	AIの利用をめぐるサイバーリスク（初選出）	社内ルール
4	システムの脆弱性を悪用した攻撃	サイト保守
5	機密情報を狙った標的型攻撃	模擬メール訓練
6	地政学的リスクに起因する攻撃	
7	内部不正による情報漏えい等	アカウント点検
8	リモートワーク等の環境を狙った攻撃	パソコン点検
9	DDoS攻撃	
10	ビジネスメール詐欺	なりすまし対策

出典：IPA「情報セキュリティ10大脅威 2026」組織編（2026年1月29日公開）。右の緑の文字は、当社のどの商品で備えるかの対応

なぜ今

偽メールの報告は1か月に約9.5万件。約4割は「本物の差出人」を名乗っています

94,661 件

フィッシングの報告
（2026年9月の1か月）

約37.8%

実在するサービスのドメインを差出人に使う「なりすまし」（協議会の調査用メールで数えた割合）

約104億円

ネットバンキングの不正送金（2025年）
その約9割がフィッシングによるもの

御社の名前が偽メールに使われると、被害を受けるのは取引先です。Gmailも2024年から、大量に送る送信者にSPF・DKIM・DMARCを求めています。

出典：フィッシング対策協議会 月次報告書 2026年9月（2026年10月19日公開）／警察庁 令和7年の情勢／Gmail送信者のガイドライン（2024年2月改定・報道より）

なぜ進まないか

6割の会社が、対策にお金をかけていません

62.6%

過去3期に対策の投資をしていない
（2021年度は33.1%）

9.3%

専門の部署がある会社

投資しない理由



だから当社は、0円の診断で**「どこが弱いか」を数字で見せる**ところから始めます。

出典：IPA「2024年度 中小企業における情報セキュリティ対策の実態調査」（理由はn=2,623。棒の長さは50%を全幅として描画）

原因

抜けやすいのは、この6か所です

1

ホームページ

暗号化の不備、古いWordPress、版が外から見えている。

→ 改ざん・弱点を突かれる

2

メール

送信元の登録（SPF）・偽メールの扱い（DMARC）が無い。

→ 御社を名乗る偽の請求

3

パソコン・機器

更新されていないOS、古いVPN機器、ウイルス対策の切れ。

→ 身代金を求める攻撃の入口

4

アカウント

二段階認証なし、辞めた人のアカウントが残っている。

→ 乗っ取り・情報の持ち出し

5

社員

偽メールのリンクを開く、AIに社外秘を入れる、ルールが無い。

→ 標的型攻撃・漏えい

6

バックアップと備え

バックアップが同じ場所にある、事故の時の手順が無い。

→ 戻せない・止まり続ける

不正アクセスの手口は「脆弱性を突かれた」48.0%、「ID・パスワードを盗まれた」36.8%（IPA 2024年度調査・n=419）

解決

0円の診断から、必要な分だけ守りを足していく

ホームページとメールは外から、パソコン・アカウント・社員は一緒に点検します。



全体像

入口は0円。1回で終わるものと、毎月の見守りに分けています

入口・0円

ウェブ安全診断

ホームページとメールを外から14項目

会社の守りチェック

IPAの自社診断25問をオンラインで一緒に答える

0円

→

1回で終わる

なりすましメール対策

49,800円〜

パソコンとアカウントの点検

39,800円〜

社員の模擬メール訓練

29,800円〜

→

毎月

サイト安全保守

月9,800円〜

見張り番

月4,980円

会社の守りパック

月29,800円

→

24時間

見張り番のシステム

ホームページ・メール・ドメインを当社のシステムが自動で見張り、メールでお知らせ

パソコンの見守り（準備中）

1台 月980円

駆け付け・保険はお助け隊サービスをご案内

価格は税別。有料メニューは2026年11月から順に受付を始めます（パソコンの見守りは準備中）

入口①　0円

ウェブ安全診断：申し込んだ本人のアドレスにだけ、14項目の診断書が届きます



点検する14項目

暗号化と証明書／ブラウザへの安全の指定5つ／ソフトの版が外から見えていないか／フォームの送り先とCookie／なりすましメール対策（SPF・DMARC）

本人だけに届く

ホームページと同じドメインのメールアドレスで申し込み、同意にチェック。結果はそのアドレスにだけ届き、画面には出しません。

見本は当社のサービスサイト

hottarakashi.mugenkaitaku.com を2026年11月3日に診断（78点）。

入口②　0円

会社の守りチェック：IPAの自社診断25問を、オンラインで一緒に答えます

やること

- IPA「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」の25問を、オンラインで一緒に答える
- 答えを「パソコン・アカウント・社員・バックアップ」に分けて、弱い所を1枚にまとめる
- そのまま「SECURITY ACTION」二つ星の宣言の準備まで進める

なぜ宣言まで

「デジタル化・AI導入補助金2026」は、申請に SECURITY ACTION（一つ星か二つ星）の宣言が必要です。東京都の助成金やDX認定でも使われています。

二つ星は、この自社診断を行い、情報セキュリティの基本方針を作って公開することが前提です。宣言は自己宣言で、認証ではありません。第2次公募からは古いID（4で始まる番号）では申請できず、取り直しが必要です。

出典：IPA「SECURITY ACTION」補助金の申請要件のページ／デジタル化・AI導入補助金 事務局のお知らせ

1回で終わる

なりすましメール対策 設定代行　49,800円〜

1
棚卸し
御社の名前でメールを送っている所（社内・フォーム・配信の道具）を全部洗い出す

2
SPF・DKIMを整える
送ってよい先の登録と、電子署名を設定する

3
見るだけで様子見
DMARCを「見るだけ」で2〜4週間。正しいメールが落ちないか確かめる

4
迷惑メールへ
偽メールは受け取る側で迷惑メールに入る設定に進める

5
受け取り拒否へ
問題が無ければ、偽メールそのものを受け取らせない設定まで

いきなり「拒否」にすると、正しいメールまで届かなくなることがあります。1段ずつ確かめながら進めます（目安1〜2か月）。

1ドメインあたり・税別。送信の道具が多い場合はお見積もり

1回で終わる

パソコンとアカウントの点検、社員の模擬メール訓練

新しく始めます

パソコンとアカウントの点検　39,800円〜

- Microsoft 365・Google Workspace の二段階認証と管理者の数
- 辞めた人のアカウント・共有の設定
- OSの更新・ウイルス対策・VPN機器の版
- バックアップが別の場所にあるか

遠隔で点検し、直す順番を1枚に。10台まで・税別。

新しく始めます

社員の模擬メール訓練　29,800円〜

- 本物そっくりの訓練メールを社員に送る
- 開いた人・入力した人の割合を報告
- 10分の振り返り教材と、社内ルールのひな形

1回・30人まで・税別。訓練は事前に社長の同意をいただいて行います。

24時間の見張り番

当社のシステムが、24時間・自動で見張ります

見張るもの	間隔	こんな時にお知らせ
ホームページが開けるか・改ざんの兆し	5分おき	2回続けて開けない／あやしい言葉や、知らない外部の部品が差し込まれた／題名や中身が大きく変わった
暗号化の証明書・ドメインの期限	毎日	証明書は30日・14日・7日前、ドメインは60日・30日・7日前
メールの設定（SPF・DMARC・DKIM・MX）	毎日	勝手に書き換えられた／なりすまし対策が外れた（乗っ取りの兆し）
御社に似たドメイン	毎日	1文字違い・見間違えやすい字・末尾違いなど約70通りのうち、新しく取られたもの
偽メールの報告（DMARC）	届くたび	御社を名乗る、合格しないメールが見つかった
社員のメールアドレスの漏えい	毎週	公開の漏えい情報に、新しく載った
パソコン（見守りソフトを入れたもの・準備中）	常時	ウイルス・身代金を求める攻撃の疑い、パスワードの総当たり、大事なファイルの書き換え

お知らせはメールで、「お知らせ・注意・要対応」の3段。同じことは24時間に1回までにまとめ、毎月の報告書にも残します。

パソコンの見守りは、無料の公開ソフト Wazuh（ワズー）を使い、当社のサーバーで見ます。現地への駆け付けとサイバー保険は当社では行いません

毎月

サイト安全保守・見張り番・会社の守りパック

中身	保守 ライト 月9,800円	保守 スタンダード 月19,800円	見張り番 月4,980円	会社の守りパック 月29,800円
WordPressの更新・バックアップ	月1回	月2回・週1回	—	○
弱点の点検（書面の同意を得て）	月1回	週1回	—	**週1回**
5分おきの見張り（止まっていないか・改ざんの兆し）	○	○	○	○
証明書・ドメインの期限、メールの設定の書き換え	○	○	○	○
偽メールの報告（DMARC）を毎月まとめる（設定代行は別）	—	○	○	○
似たドメイン・社員アドレスの漏えい	—	—	○	○
改ざんされた時の復旧作業（範囲は申込書で取り決め）	—	**月額内**	—	**月額内**
模擬メール訓練（30人まで）／パソコンとアカウントの点検（10台まで）	—	—	—	**年2回／年1回**

税別。会社の守りパックは、保守スタンダード・見張り番・訓練年2回・パソコン点検年1回を別々に頼むより安くなるように組んでいます。パソコンの24時間見守りはどのプランにも1台 月980円で足せます

事故のとき

もしもの時に、誰が何をするかを先に決めておきます

役割	担当	中身
ふだんの点検と直す作業	**当社**	ホームページ・メール・パソコンとアカウント・社員の訓練
最初の相談	**当社**（平日の営業時間）	何が起きたかの整理、止める・残す・知らせるの順番
24時間の見守り	**当社のシステム**	ホームページ・メール・ドメインを自動で見張り、メールでお知らせ（パソコンは準備中）
現地への駆け付け	国の「お助け隊サービス」登録事業者（当社との提携先は準備中）	ネットワーク監視型は月1万円以下（税抜）の基準
費用の補償	お助け隊サービスに付く簡易サイバー保険	お助け隊サービスには簡易なサイバー保険が付いています
届け出	当社がお手伝い	警察の相談窓口・IPA・個人情報保護委員会など

お助け隊サービスは、IT導入支援事業者を通して申請すると「デジタル化・AI導入補助金2026」セキュリティ対策推進枠の対象になります（補助5万〜150万円。中小企業は1/2、小規模事業者は2/3以内）。

出典：IPA「サイバーセキュリティお助け隊サービス制度」資料（登録45事業者・85サービス／2026年10月）／デジタル化・AI導入補助金2026 事務局

ほかとの比べ方

近い分野の他社と、何が違うのか

2026年11月3日に、各社の公式ページ（一部は比較サイト・報道）で確かめた内容です。



ほかとの比べ方

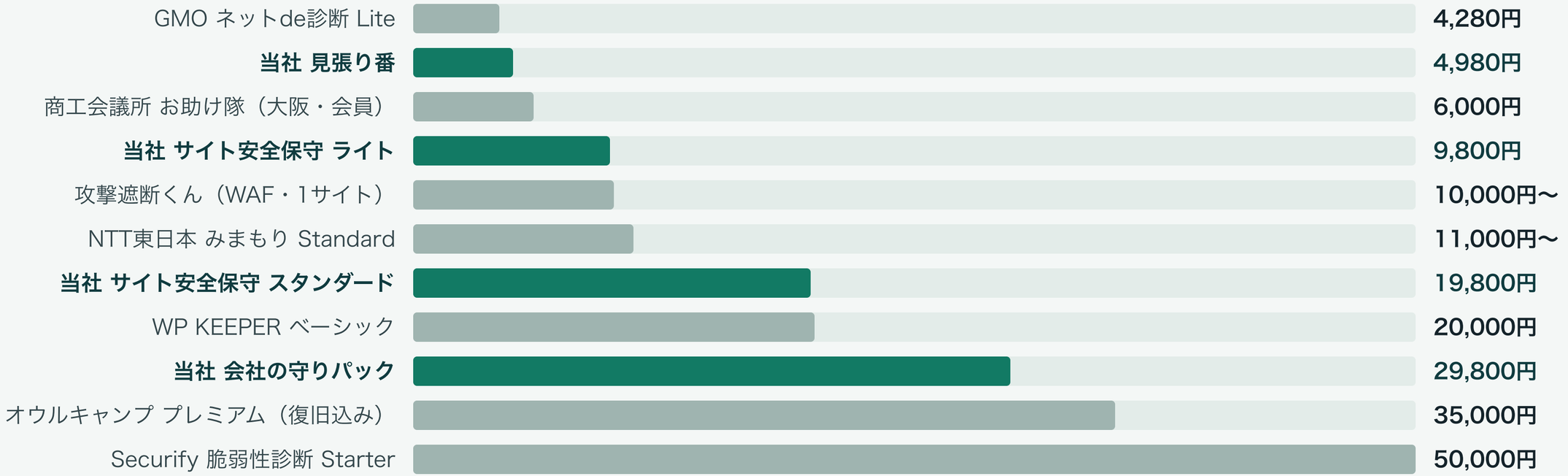
直す作業・メールと社員の対策・24時間の自動見張りを1本に。駆け付けと保険は、お助け隊サービスの役割です

サービス	価格（税抜）	外からの点検	ホームページを直す	なりすましメール対策	パソコン・社員	24時間の見守り駆け付け・保険
GMO ネットde診断 Lite	月4,280円	○	—	—	—	—
商工会議所 お助け隊（大阪）	月6,000〜7,500円	—	—	—	ネットワークの見守り	○
NTT東日本 おまかせサイバーみまもり	月11,000円〜	—	—	—	ネットワークの見守り	○
WP KEEPER ベーシック	月20,000円	○	○	—	—	—
フィードテイラー DMARC導入	初期18万円・月0円	—	—	○	—	—
当社 会社の守りパック	**月29,800円**	○	○	**報告のまとめ（設定は別）**	**点検年1回・訓練年2回見守り（準備中）1台980円**	**24時間の自動見張り○駆け付け・保険はご案内**

○は価格に含まれるもの。各社の公式ページ（2026年11月3日確認）。税込の表記は10%で割り戻した（大阪 6,600／8,250円、NTT東日本 12,100円、WP KEEPER 22,000円、フィードテイラー 198,000円）。お助け隊の2社は事故の時の駆け付けと初動の対応を含む。攻撃を止める仕組み（WAF）は分野が違うため、この表から外した

ほかとの比べ方

月額で並べると、当社はこの位置です



税抜で比較（税込の表記は10%で割り戻し：大阪 6,600円・NTT東日本 12,100円・WP KEEPER 22,000円・オウルキャンプ 38,500円）。中身は各社で異なる。出典：各社公式ページ（2026年11月3日確認）。攻撃遮断くんは比較サイト ITreview（2025年3月時点）

当社でも実際に

自社のメールから、この手順で締め始めました

前

mugenkaitaku.jp

DMARC：見るだけ（p=none）

当社を名乗る偽メールが届いても、受け取る側で止められない状態でした。

→

後（2026年11月3日）

mugenkaitaku.jp

DMARC：迷惑メールへ（p=quarantine）

締める前に、普段の送信が SPF・DKIM・DMARC の3つとも合格していることを確かめてから変えました。

受け取り拒否（reject）へは、様子を見てから進めます。もう1つのドメイン mugenkaitaku.com は、送信している道具の棚卸しを終えてから同じ順番で進めます。

守ること

ご依頼の前に、お約束すること

点検について

- 0円診断は、どなたでも見られる範囲だけ
- 深い点検と訓練は、書面の同意をいただいてから
- 他社のホームページを勝手に診断しない

結果について

- 結果はご本人にだけお渡しする
- 第三者に渡したり、公開したりしない
- 「危ない」と脅さず、直し方と一緒に伝える

できないこと

- 現地への駆け付けとサイバー保険は当社では行わない（お助け隊サービスをご案内）
- 「絶対に被害にあわない」とは言わない

次の一歩

まずは0円の診断から

ウェブ安全診断（0円・約3分）

anzen.mugenkaitaku.com

ホームページと同じドメインのメールアドレスでお申し込みください。

会社の守りチェック（0円・オンライン）

件名「会社の守りチェック希望」で
info@mugenkaitaku.com へメールをお送りください

お問い合わせ：info@mugenkaitaku.com